



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

文学部 新聞学科 特別プログラム in 大阪

2023年

8月18日 金

会場：上智大学大阪サテライトキャンパス

事前申込：7月18日(火)17時から申込開始

上智大学文学部新聞学科は、ジャーナリズム、マス・コミュニケーション関係の学科としては、日本で最も古い伝統ある学科です。新聞、放送、出版、映画、広報など、マス・メディアはもとより高度化したメディア社会において、ジャーナリズムやコミュニケーション、情報の諸領域を「理論と実践」の両面から幅広く、バランスよく学びます。メディアの世界を目指す人材の養成はもちろん、一般企業や社会人に必要なコミュニケーション教育を実施。「倫理に偏せず、実践にも偏らない幅広い教育」により、ジャーナリズムの世界に進む人のみならず、高度なコミュニケーション能力とメディア・リテラシーを身につけた企業人・社会人の育成も重視しています。今回のイベントは、体験授業や卒業生のトークセッション、学生の作品上映を通して、新聞学科の魅力を体験いただけます。

13:00~14:30

学科紹介・体験授業 新聞学科での学び～世論調査とジャーナリズム

渡邊 久哲 (文学部新聞学科教授)

前半の学科紹介では、カリキュラムや科目の特色に加え、多様なキャリアを持つ学科教員の専門領域について紹介いたします。後半の体験授業では、新聞社やテレビ局、通信社などの報道機関が実施する世論調査や選挙予測調査について、その目的や実施方法を説明した上で、それらの調査結果を報道する際に生じる諸問題と今後に向けた課題を解説いたします。この授業を通して、新聞学科の学びの特色である「情報社会を生き抜くためのメディア・リテラシーを身につける」ことの一端を体験していただけます。

14:30~15:15

在学生 × 卒業生トークセッション いま、メディアを学ぶ意味とは

【登壇者】

渡邊 久哲 (文学部新聞学科教授)

新聞学科2年生 (SPSFコースに在籍中 番組制作の授業を履修)

新聞学科卒業生 (2017年卒業後、一般企業に就職)

ネット社会が拡大しSNSなどの即時性の高い情報がたえず拡散される現代において、メディアが果たす役割とは何なのか。そしていま、メディアを学ぶ意味とは何か。在学生と、学科での学びを生かして社会で活躍する卒業生がそれらの問いを考えます。上智大学の新聞学科で学んだ経験と醍醐味、学生生活や就職活動など、受験生が気になるトピックスもトークセッション形式で深堀りします。

15:15~15:35

学生作品上映会 老いた後

「老いた後」は新聞学科学生が授業で制作した作品です。

終活のために、自分史を書くことを考えていると明かしてくれた祖父との対話を通し、一見変化のない高齢者の日常の中においての政治、宗教、結婚と死別に目を向け、「平均的高齢者男性」として生き、人生を締めくくるとはどのようなことであるかを探ります。

また、制作した学生の解説を通して、作品に対する思いや制作秘話に迫ります。

※対面登壇での実施予定ですが状況によりオンライン登壇となる場合がございます

事前申込制

定員に達し次第申込を締め切ります

会場・お問い合わせ

上智大学大阪サテライトキャンパス

お申込み、詳細は大阪サテライトキャンパスWEBサイトをご確認ください。

<http://www.sophia-osaka.jp/>

〒531-0072 大阪市北区豊崎3丁目12番8号
サクラ ファミリア (カトリック大阪梅田教会) 2階
電話：06-6450-8741 開室時間：平日 10:00 ~ 18:00

